

広袴 便り

広袴町内会
会報第66号

発行日
2025(令和7)年
6月1日

発行責任者
広袴町内会
水野 利雄

町作りの5つの柱

- 1 安心、安全な町
- 2 子ども・お年寄りを大事にする町
- 3 きれいで清潔な町
- 4 伝統、文化を大切にする町
- 5 ご近所の触れ合いのある町

広袴町内会定時総会

二〇二五年四月二十七日、広袴町内会の定時総会が町内会館にて開催されました。

出席会員および委任状の合計は四八七名となり、全会員数の過半数を超えたため、町内会運営規約に基づき総会は成立しました。

当日は多くの会員の皆様にご出席いただき、令和六年度の会計報告や会館運営報告、新年度の事業計画、役員改選など、重要な議案について活発な審議が行われました。

審議された議案は次の通りです。

- ・ 第一号議案 令和六年度事業について
- ・ 第二号議案 令和六年度決算について
- ・ 第三号議案 令和七年度町内会事業計画について
- ・ 第四号議案 令和七年度会計予算について
- ・ 第五号議案 令和七年度役員の選出について

以上の議案について審議が行われ、すべての議案が承認されました。

今年度は新たに四名が入会し、三十六名が退会されました。退会者が例年より多かった理由については、「高齢化によるものが大半であり、役員の担い手不足も背景にある」との説明がありました。全国的にも町内会の加入率が低下傾向にある中、広袴町内会では七割以上の加入率を維持していますが、今後も高齢化や新規入居者への勧誘方法が課題となっています。

総会では、「退会届がポストに投函されるだけで手続きが完了してしまう現状を見直し、今後は班長や役員が直接ご本人の意向を確認するなど、丁寧な対応を心がけていく」方針が示されました。

また、新築住宅への勧誘についても、「近隣の班長や委員が声をかける体制を検討していく」ことが話し合われました。

新役員の選出も行われ、会長に水野利雄さん、副会長に川良徳弘さん・海野太一さんが新たに就任されました。会計監査役には吉川和章さん、斎藤嘉男さんが選出され、各組の委員・班長も紹介されました。

総会終了後は、懇親会も開催され、会員同士の親睦を深めるひとときとなりました。今後も町内会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

町内会長・副会長の挨拶

会長 水野利雄



町内会長を務めさせていただくことになりました水野利雄です。いつも町内会の活動にご理解いただき、温かいご協力をありがとうございます。心より感謝申し上げます。

皆さまと共に、安心して暮らせる町を守り、さらに素敵な地域にしていけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

私たちの広袴は、先人たちが築き上げ、守り続けてきた大切な場所です。安心して暮らせる環境を維持し、さらに子供たちにつなげていくためには、「自分の町は自分たちの手で継続して守る」という意識が欠かせません。町の未来は、私たち一人ひとりの手にかかっています。

総会で年間行事について承認をいただきまして、これらの行事は、町内の絆を深め、地域の活力を高める貴重な機会です。皆さまの積極的なご参加と温かいご支援をお願い申し上げます。

私も町内会長として、皆さまと積極的に交流しながら、明るく住みよい街づくりに努めてまいります。

副会長 川良徳弘



副会長の任に着かせていただきました1組C班の川良（かわら）です。これまで平成22年度班長の時に防犯交通部に所属し、令和4・5年度委員として総務部の仕事をいたしました。

この度、広報部、会計部、総務部のお仕事に関わらせていただきます。新たな挑戦となります。皆様のご指導をいただきながら、町内会の目的が達成されますように、ベストを尽くしたいと存じます。目標は、これまでの部会活動を継続・継承すること、そして皆さまと町内会の情報共有の場を拡大していくことです。個人的には、文京区とふじみ野市にキャンパスがある大学で教員をしております。定年まであと3年勤務を続ける予定です。今、年齢からくるいくつかの身体徴候に加え、社会情勢の変動による日常生活への影響を感じています。諸々の変化に対応していくのは、大変でもあり楽しみでもあります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副会長 海野太一

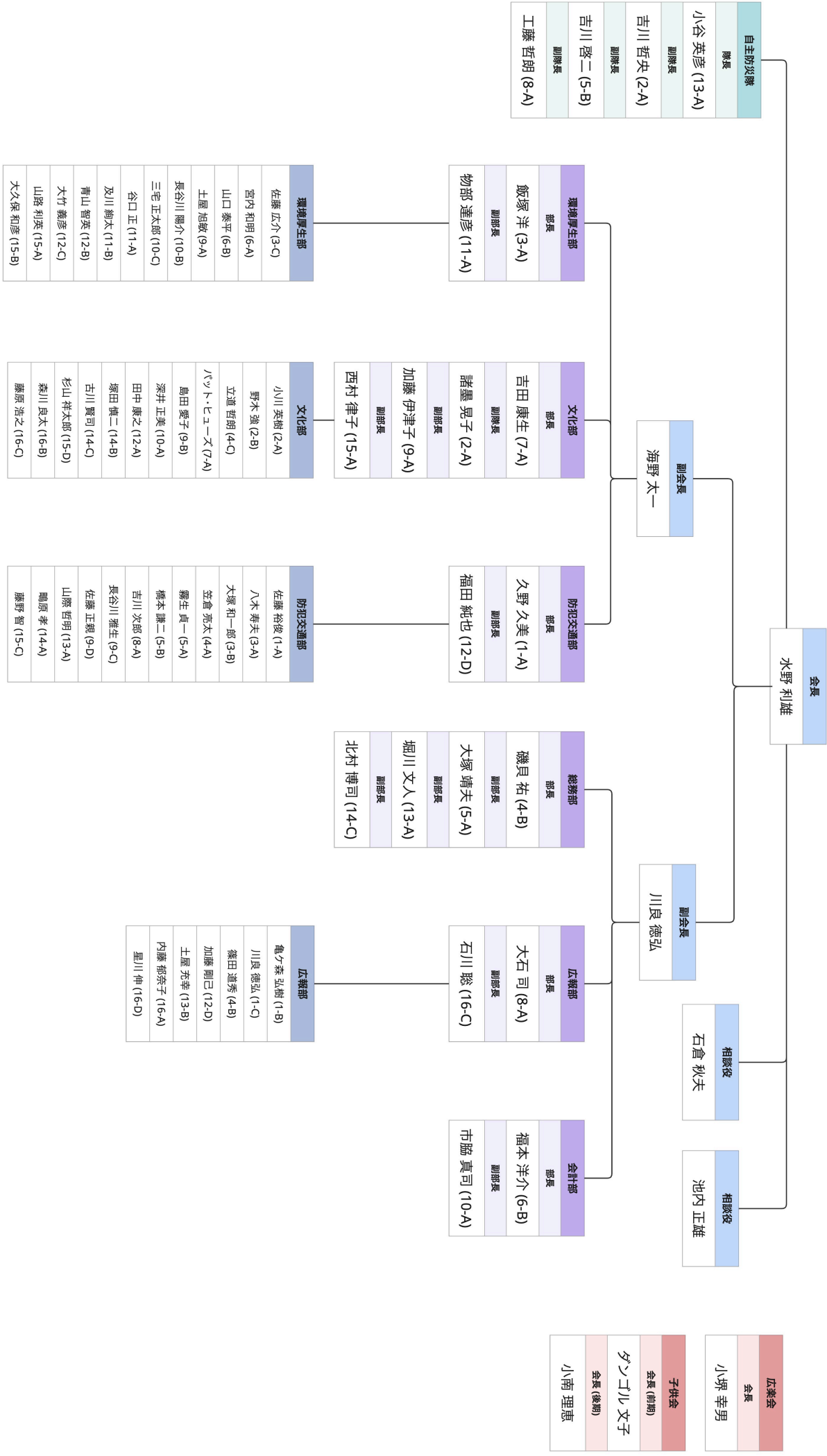


広袴町内会のみなさま、こんにちは。このたび、副会長を務めさせていただくことになりました、6組B班の海野です。広袴町には引っ越してきて十八年が経ちました。自然が豊かで空も広く、どこかのんびりとした雰囲気があり、私自身とても気に入っている町です。

今年度は、文化部、防犯交通部、環境構成部を担当させていただくことになりました。町内会の役員をお引き受けするのは初めてのことで、正直なところ、まだ分からないことも多くありますが、みなさまにいろいろと教えていただきながら、少しずつ覚えていきたいと思っています。

これからの一年間、行事や活動を通して、みなさんと直接お話しさせていただく機会もあるかと思っています。お世話になることもあるかと思いますが、気軽に声をかけていただくとうれしいです。安心して暮らせる、笑顔のあふれる広袴のまちづくりに、少しでも力になればと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

令和7年度 広袴町内会組織図 & 関連団体 (敬称略)



どんと焼き

令和七年一月十一日（土）、冬空の下、広袴町内会恒例のどんと焼きが開催されました。前日の雨で足元はぬかるんでいましたが、多くの皆様にご参加いただき、心温まる一日となりました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

どんと焼きの準備は、皆様から寄せられたお飾りやだるまを心を込めて仕分けることから始まります。お飾りに付いた針金やプラスチック、ホチキスの針。「これは燃やせないね」「こっちは大丈夫かな？」と一つひとつ確認しながら、ニッパーやラジオペンチを手に分別します。時には「このボンド、強すぎるー！」なんて苦笑いも。子どもたちが一生懸命に外し、大人たちが優しく見守りチェックする――世代を超えた温かい協力体制がそこにありました。

この丁寧な作業には大切な理由があります。会場となるのは、小学生が田植え体験で裸足になる田んぼなのです。子どもたちが金属片などで怪我をしないように、また稲の成長に有害なものが混じらないように、皆で細心の注意を払いながら作業を進めました。

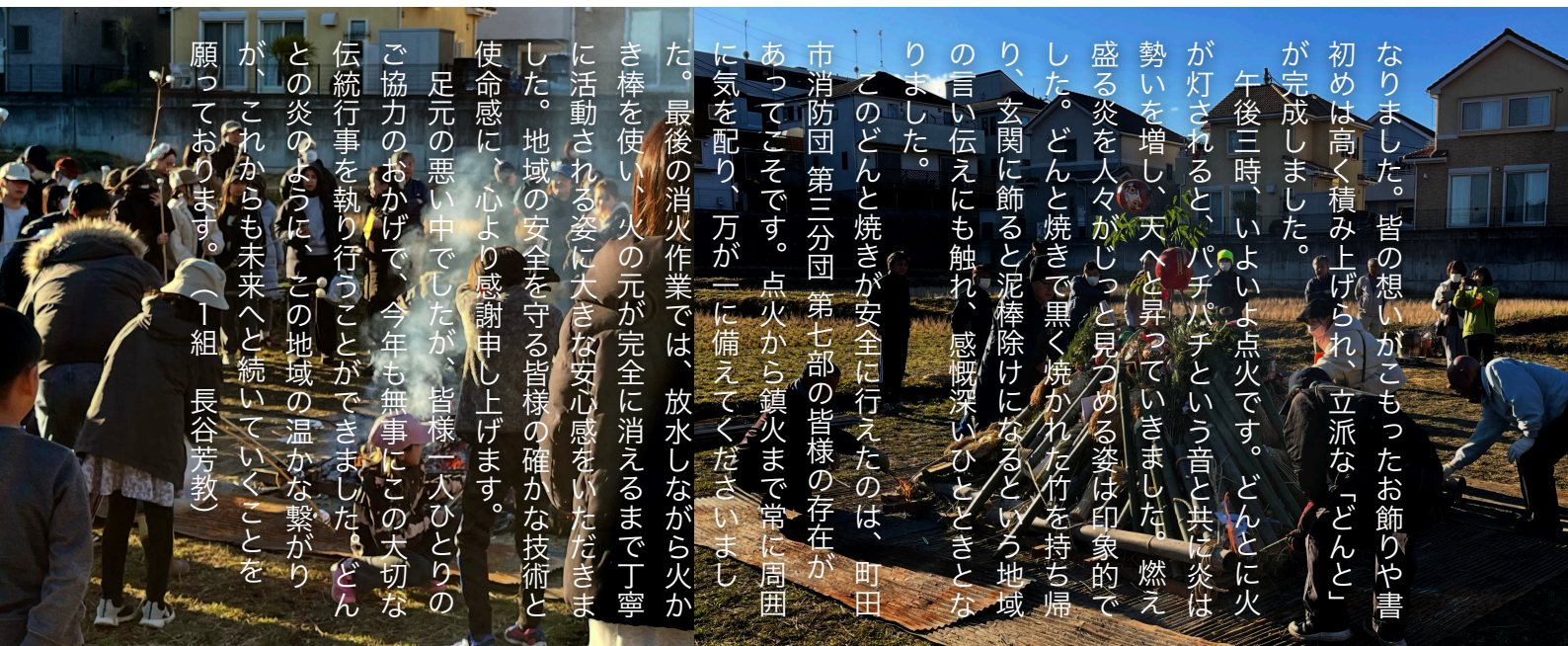
大きなだるまには、安全に燃やすための工夫として底に穴を開け、竹も節を抜きます。かつては竹の大きな破裂音で邪気を払ったそうですが、現代では安全に配慮しつつも、こうして先人の知恵や風習に触れる良い機会と

なりました。皆の想いがこもったお飾りや書初めは高く積み上げられ、立派な「どんと」が完成しました。

午後三時、いよいよ点火です。どんとに火が灯されると、パチパチという音と共に炎は勢いを増し、天へと昇っていきまじだ。燃え盛る炎を人々がじっと見つめる姿は印象的でした。どんと焼きで黒く焼かれた竹を持ち帰り、玄関に飾ると泥棒除けになるといふ地域の言い伝えにも触れ、感慨深いひとときとなりました。

このどんと焼きが安全に行えたのは、町田市消防団第三分団第七部の皆様の存在があつてこそです。点火から鎮火まで常に周囲に気を配り、万が一に備えてくださいました。最後の消火作業では、放水しながら火かき棒を使い、火の元が完全に消えるまで丁寧に活動される姿に大きな安心感をいただきました。地域の安全を守る皆様の確かな技術と使命感に、心より感謝申し上げます。

足元の悪い中でしたが、皆様一大ひとりのご協力のおかげで、今年も無事にこの大切な伝統行事を執り行うことができました。どんとの炎のように、この地域の温かな繋がりが、これからも未来へと続いていくことを願っております。（T組 長谷芳教）



年末防犯パトロール

令和六年十二月二十九日、三十日の二日間、年末恒例の防犯パトロールを実施いたしました。年末の寒波が押し寄せる中、今日も寒い日となりましたが、防犯交通部の方に加え有志やご家族の方含め総勢三〇名を超える方に参加いただきました。ありがとうございます。



四つのコースに分かれ歩きながら、拍子木を打つ「カンカン」という音の後に「火の用心・・・」いつの時代になっても変わらずこの掛け声で地域の防災を呼びかけました。皆さんのお宅にも聞こえましたでしょうか。今年は首都圏をはじめ年末まで災いのニュースが流れましたが、広袴町内会では地域の皆さんで声掛けをして自分たちの街を守っていくという想いを大切にしながらこの活動を行きたいと感じました。



寒空の中、体は冷えてしまいましたが、皆さんの心温まる掛け声と役員の皆さんが準備してくださった温かい飲み物で、こころも体もほっこりしました。（4組 高橋史晃）

2025 (令和7) 年度 広袴町内会及び地域の年間予定スケジュール

- 6月8日(日) 安否確認訓練
- 7月13日(日) 広袴調整池 周辺草刈り
- 7月26日(土) 納涼夏祭り
- 9月14日(日) 自宅周辺クリーンアップ
- 10月19日(日) 鶴川連合交流運動会
- 10月26日(日) 広袴自主防災訓練
- 11月8日(土)、9日(日) 作品展示会
- 11月16日(日) 広袴調整池 周辺草刈り
- 12月29日(月)、30日(火) 年末防犯パトロール
- 1月10日(土) どんと焼き



※行事、日程、場所等は変更になる場合があります。開催案内の回覧等でご確認ください

ホームページについて

広袴町内会がホームページを運営していることはご存知でしょうか。

広報誌は年三度しか発行されないこともあり、六月号に年末年始の情報が載るなどの時間のズレがどうしても発生してしまいます。

本年度においては、イベント等の取材による記事はできるだけ早いタイミングでホームページへ掲載していく考えです。

また回覧板によるお知らせなどの情報もできる限り掲載していくと考えております。

ホームページは左のQRコードを使ってアクセスしていただけます。ご参考にさせていただきます。



広袴町内会ホームページ



また、ホームページでは「広袴便り」の創刊号から最新号まで、すべてのバックナンバーをご覧いただけます。

昔の記事を読み返しながら、当時を懐かしんでみてはいかがでしょうか。



広袴便り
バックナンバー

吉川動物病院



診療時間 / 午前 9:00 ~ 12:00
午後 3:30 ~ 6:30
日・祭日・休診

町田市広袴 3-3-11 ☎735-3487



(株)光陽測器製作所

本社 / 〒195-0056 東京都町田市広袴 2-17-14
TEL.042(736)0959 FAX.042(736)0453

町田市ゴミ分別アプリ

ごみの分別や収集日は、私たちの生活に欠かせない大切な情報ですが、「これは何ごみ?」「いつ出せばいいの?」と迷うことも多いですね。町田市では、そんな悩みを解決するために、スマートフォンやタブレット端末向けの「町田市ごみ分別アプリ」を提供しています。

このアプリでは、次のような便利な機能が利用できます。

- ・出したいごみや資源を、名前や種類から検索でき、分け方や出し方がすぐに分かります。
- ・お住まいの地域ごとのごみ収集日程を簡単に確認できます。
- ・ごみの減量に役立つ知識や情報も掲載されています。
- ・指定収集袋や粗大ごみ処理券の販売店、拠点回収場所なども調べられます。
- ・ごみ分別について楽しく学べるクイズゲームもあります。

特に便利なのは、「このごみはどうやって出すの?」と迷ったときに、ごみの名前を入力するだけで、分別方法や出し方がすぐに分かる点です。

例えば、みなさんは「石」をどのように処分すればよいかご存知ですか?



ゴミの出し方を教えてくれる



候補一覧が出てくるので知りたいゴミを選択する



トップ画面の「出したいゴミを検索」の部分に「石」と入力

このように、「町田市ごみ分別アプリ」を使えば、簡単にごみの出し方を調べることが出来ます。

特に便利なのは、「三言語(日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、タガログ語)」に対応している点です。外国人の方にも使いやすくなっています。

また、町田市は桜美林大学と連携し、学生の皆さんからの意見を積極的に取り入れてアプリの改善を進めています。たとえば、「アイコンの色だけでは分かりにくい」という声を受けて、アイコンの下に文字で説明を追加したり、「分別結果の矢印が見づらい」という指摘から表示を分かりやすくしたり、粗大ごみの検索結果から直接予約フォームにアクセスできるようにするなど、具体的な改良が行われています。

アプリは、App Store や Google Play から無料でダウンロードできます。詳しくは、左のQRコードから町田市のホームページをご覧ください。ぜひ、ご活用ください!



広袴おりおり

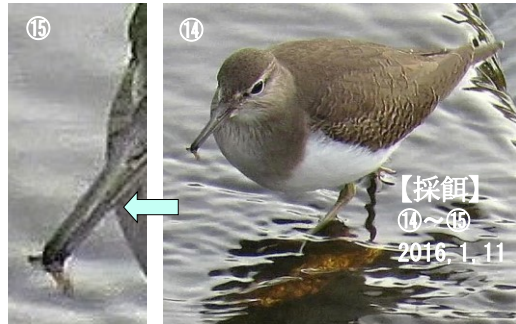
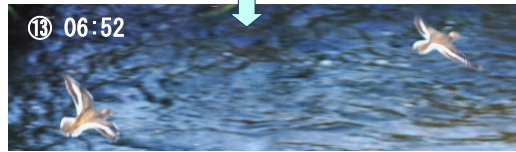
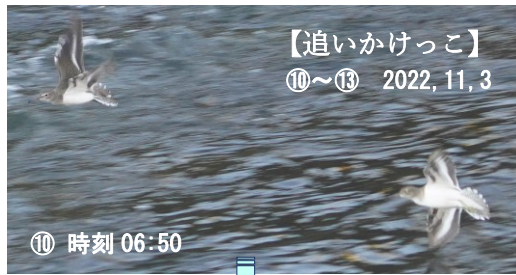
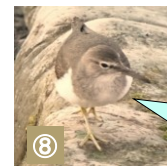
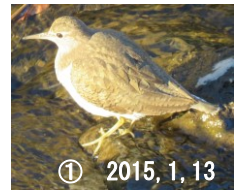
第38回



イソシギの追いかっこ

真光寺川の最下流域、すなわち鶴見川との合流地点は、川幅が広がり、餌が豊富になるために多くの野鳥が集まりやすい。真光寺川の流域内では滅多に見られないシギやチドリ仲間も時々見かけられる。

中でも留鳥のイソシギは出合う確率の高い鳥である。今回掲載の写真も、唯一真光寺川中流域にある遊水場の岩石がごろごろと集積した箇所観察された①以外、全て鶴見川との合流地点での撮影である。写真①、②は典型的な姿。肩口の鋭角の白い切れ込みが近縁種と区別できる最大の特徴である。主に河川や湿地にいる小さな水性生物を捕食している。その為、③のように流れの急な所でも平気だし、④のように絶えず水性生物のいそうな水際の暗



がりなどを動き回って採餌している。⑤は水流に頭を深く突っ込んでいる様子。獲物が小さいだけに食欲にたくさん食べ続けなければならぬ。⑥は寄生虫への防御なのか片足を上げて嘴付近を頻繁に擦っている様子。イソシギは尾羽をしきりに上下動させるなど動作が機敏である。⑦は河川に多い灰褐色をした岩石の何気ない写真であるが、実は⑧の通り中ほど

にイソシギがいる。色や模様が似ていてカモフラージュされていることが分かる。シギの仲間は種類が多く見分けるのが難しいと言われ、特に⑨のクサシギはイソシギと非常によく似ている。白い切れ込みが無く、嘴と脚がやや長いところが異なる。⑩~⑬は二羽のイソシギが追いかっこをしている様子。二三分くらい続いた。翼の上面に班状の白い帯が見える。イソシギの特徴である。因みに雌雄は同体。面白いことに付かず離れず一定の距離を保ちながら追っていた。それで縄張り争いではなく求愛と推測できた。

⑭は採餌の瞬間で、⑮はその嘴の拡大写真。獲物の小ささを見ると、休む暇なく食べ続けるしかないことがよく伝わってくる。



距離保ち追尾しているイソシギの恋の秘訣は付かず離れず (十六組 篠田泰蔵)

余話

左の二点の写真

は、右から左に川が流れている同じ場面での撮影である。

⑬は、果敢に急流へ頭を深く突っ込んで採餌を行い、水が全身にかぶつてもめげない様子。

⑬はその直後で、どれほど採餌に夢中になっても時々上空を見上げ、天敵からの襲来への警戒を怠らない姿である。

